

W-2-4

ワークショップ：最後のアナログ言語調査資料：危機に瀕した言語データの発掘と救出

土田データ：台湾原住民危機言語・方言のデータ¹

塩原朝子（東京外国語大学 アジア・アフリカ言語文化研究所）

本発表では、本ワークショップの基盤となった科研費プロジェクト「研究職を離れた言語研究者が保持する言語データの適正再資源化のための基盤確立研究」(18H00661)のメンバーからなる研究グループが2019年に譲り受けた土田滋博士の台湾原住民危機言語・方言のデータの概要を示す。土田博士は1960年代から20年以上にわたり台湾原住民語16言語の調査を行った。これらの言語はそのほとんどがいわゆる危機言語・方言である。上記プロジェクトが譲り受けたフィールドノート、カード、およびカセットテープにはこれらの言語の単語・文例のみならず自然発話であるモノローグ（物語）や歌謡の記録が土田博士による正確な転写とともに残されている。本発表ではこの資料の今後の活用の可能性にも触れる。

1. 土田博士の言語資料の譲渡を受けるまでの経緯

本ワークショップの基盤となった科研費プロジェクト「研究職を離れた言語研究者が保持する言語データの適正再資源化のための基盤確立研究(18H00661)²」は退職などで研究職を離れた言語学者（や隣接領域たる人類学・民俗学などの研究者）が所有する現地調査資料を散逸させず、有効に活用することを第一の目的としている。土田滋博士が収集した言語資料は、プロジェクトの企画段階から我々の関心の対象であった。それは、この資料がいわゆる危機言語・少数言語である台湾原住民語³の古くは1968年にさかのぼる記録であり、資料価値がきわめて高いことによる。

プロジェクト発足後、かつて土田博士に師事した加藤重広博士、中川裕博士、および塩原が2019年6月8日に土田博士の自宅を訪問し、資料を譲り受けた。

2. 土田博士の言語資料の概要と今後の活用の見込み

譲り受けた言語資料は台湾原住民語16言語およびフィリピン諸語の調査の成果であるフィールドノート約110冊、カード約10,000枚、および音声を録音したカセットテープ138本、オープンリール39本である。フィールドノートとカードはプロジェクトの研究協力者加藤幹治氏がスキャンを行い画像ファイル化し、カセットテープは業者にデジタル化を依頼した。言語資料が存在する言語・

¹ 本稿執筆に際して、台湾原住民語の専門家である月田尚美博士（愛知県立大学）に多くのご教示を受けました。厚く御礼申し上げます。また本稿の草稿に対して貴重なコメントをくださった山越康裕博士（東京外国語大学 アジア・アフリカ言語文化研究所）、加藤幹治さん（東京外国語大学大学院・日本学術振興会）に深く御礼申し上げます。

² <https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-18H00661>

³ 「台湾原住民語」は台湾先住民が話すオーストロネシア系の言語である。「先住民」という語は中国語ではすでに滅んだ民族を指すため、ここでも現地の呼称を尊重し「原住民」という呼称を用いる。

方言のリストと資料の概略、また関連する土田博士による研究成果、その他の著者による出版物をこの予稿末に補遺として掲載した。

土田博士の興味の中心は台湾原住民語の歴史的分岐・分類であったため、資料の中心は図1（左）のような単語データである。その一方で、一部の言語・方言については、図1（右）のような文例、および、図2のような自然発話のモノログ（物語など）や歌謡の記録も存在する。さらにフィールドノートの項目に対応する録音も残されている。

フィールドノートと対応する形で残されている音声資料から、調査協力者はいずれも各言語の流暢な話者であったことが推察され、この資料が（その多くが）危機言語である台湾原住民語が日常のコミュニケーションに用いられていた時代の姿を残していることがわかる。

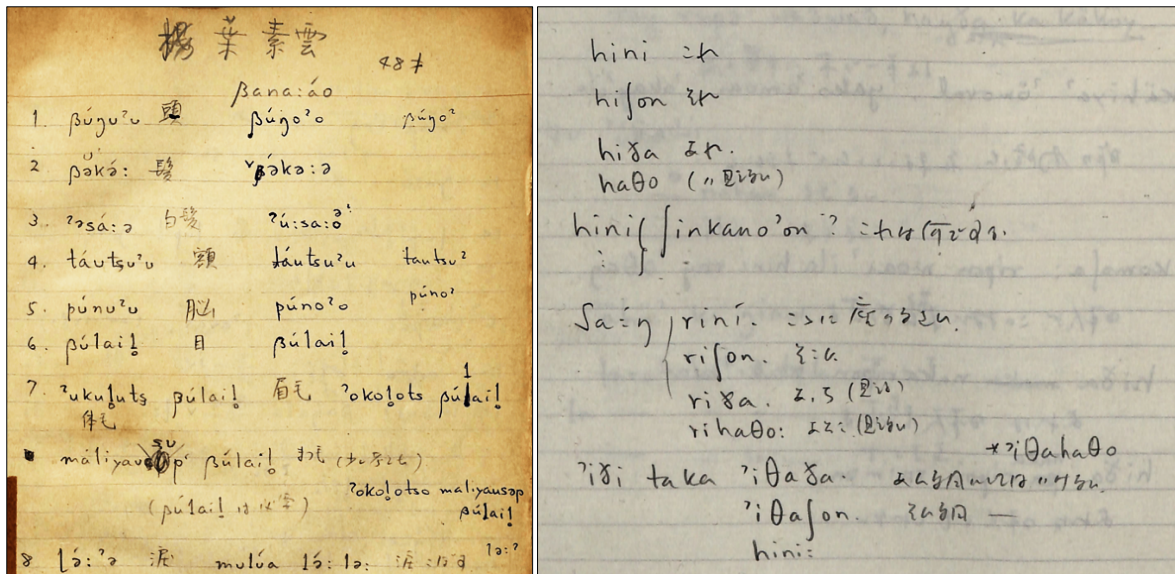


図1 左: フィールドノート Saaroa1 p.4 より抜粋/ 右: フィールドノート Saisyat_4 pp.38 より抜粋

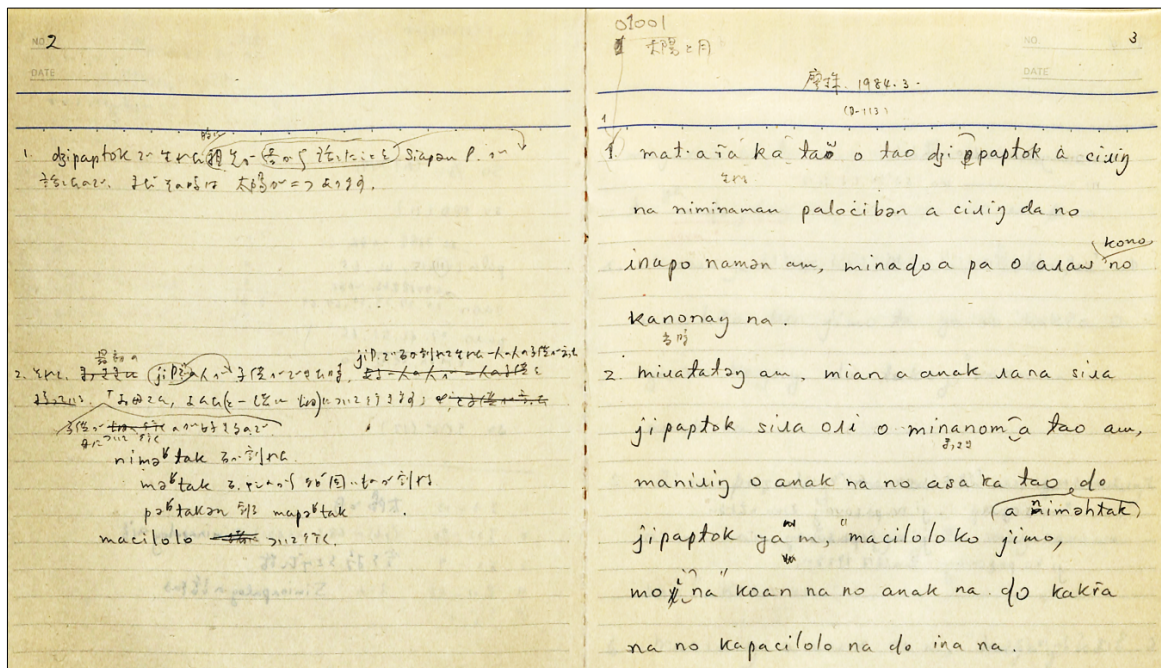


図2 フィールドノート Yami_text_1, pp.2-3 より抜粋

いくつかの言語のデータはすでに土田博士によって公刊された辞書や語彙集、およびテキスト集に生かされている。またこれらのデータは土田博士が『言語学大辞典』において担当した台湾原住民語12言語の項目内容の基盤でもある。今回譲り受けた音源に基づく音声データをこれらの出版物と関連づけて公開することが、上記の研究成果の裏付けとなる。

さらに、資料のうち物語や歌謡は各言語・方言のコミュニティにとってとりわけ貴重な文化遺産である。これらは手書きの転写で残されており、日本語訳がついているのはその一部である。その内容を明らかにするためには、既に出版された辞書などの情報に基づき、現地の研究者・話者の助けを借りながらアノテーションをつける作業が必要である。

現在、台湾原住民語の専門家であり、土田博士との共同著作がある李壬癸博士（台湾中央研究院言語学研究所）と資料を共有し、活用について議論を行っている。今後は研究者、および言語コミュニティが容易にアクセスできるような形での公開を目指している。

参考文献

- Blust, R. A. 2003. *Thao dictionary*. Taipei: Institute of Linguistics (Preparatory Office), Academia Sinica.
- Cauquelin, Josiane. 1991. *Dictionnaire puyuma-français*. Paris: École française d'Extrême-Orient.
- Chang, Anna Hsiou-chuan. 2006. *A Reference Grammar of Paiwan*. Canberra: The Australian National University dissertation.
- 張秀絹 (Chang Hsiou-chuan). 2016. 台湾南島語言叢書 9: 排灣語語法概論 (Taiwan Nandaoyuan congshu 9: Paiwanyu yufa gailun). 新北(New Taipei): 原住民族委員會 (CIP).
- 張永利・潘家榮 (Chang Yong-li, and Pan Chia-jung). 2016. 台湾南島語言叢書 7: 鄒語語法概論 (Taiwan Nandaoyuan congshu 7: Zouyu yufa gailun). 新北 (New Taipei): 原住民族委員會 (CIP).
- De Busser, Rik. 2009. *Towards a Grammar of Takivatan Bunun: Selected Topics*. Melbourne: La Trobe University dissertation.
- Egli, Hans. 2002. *Paiwan Wörterbuch: Paiwan-Deutsch, Deutsch-Paiwan*. Wiesbaden: Otto Harrassowitz.
- Ferrell, Raleigh. 1982. *Paiwan Dictionary*. Canberra: Pacific Linguistics.
- Fey, Virginia. 1986. *Amis Dictionary*. Taipei: The Bible Society in the Republic of China.
- Haowen Jiang. 2019. Verb classes in Central Amis: Evidence from grammatical nominalizations. MS. at Workshop on Verb classes in Formosan languages and beyond: Cross-linguistic, comparative and diachronic perspectives, held at Academia Sinica, November 15-16, 2019.
- 謝富惠 (Hsieh, Fuhui). 2016. 台湾南島語言叢書 15: 噶瑪蘭語語法概論 (Taiwan Nandaoyuan congshu 15: Gamalanyu yufa gailun). 新北(New Taipei): 原住民族委員會 (CIP).
- 黃美金・吳新生 (Huang, Lilian Meei-jin and Wu, Hsin-sheng). 2016. 台湾南島語言叢書 2: 泰雅語語法概論 (Taiwan Nandaoyuan congshu 2: Taiyayu yufa gailun). 新北 (New Taipei): 原住民族委員會 (CIP).
- 黃慧娟・施朝凱 (Huang, Hui-chuan J. and Shih, Chao-Kai). 2016. 台湾南島語言叢書 6: 布農語語法概論 (Taiwan Nandaoyuan congshu 6: Bunongyu yufa gailun). 新北 (New Taipei): 原住民族委員會 (CIP).
- 簡史朗 (Jean, Shihlang). 2016. 台湾南島語言叢書 4: 邵語語法概論 (Taiwan Nandaoyuan congshu 4: Shaoyu yufa gailun). 新北 (New Taipei): 原住民族委員會 (CIP).
- Li, Paul Jen-kuei. 1973. *Rukai Structure*. Taipei: Institute of History and Philology, Academia Sinica.
- Li, Paul Jen-kuei. 1981. Reconstruction of Proto-Atayalic phonology. *Bulletin of the Institute of History and Philology Academia Sinica* 52.2. 235-301.
- Li, Paul Jen-kuei. 1988. A comparative study of Bunun dialects. *Bulletin of the Institute of History and Philology Academia Sinica* 59.2. 479-508.
- Li, Paul Jen-kuei & Shigeru Tsuchida. 2001a. Pazih dictionary. *Language and Linguistics Monograph Series of the Institute of Linguistics, Academia Sinica, No. A2*. Taipei.
- Li, Paul Jen-kuei & Shigeru Tsuchida. 2001b. Pazih texts and songs 巴宰族傳說歌謠集. *Language and Linguistics Monograph Series of the Institute of Linguistics, Academia Sinica, No. A2-2*. Taipei.
- Li, Paul Jen-kuei, & Shigeru Tsuchida. 2006. *Kavalan Dictionary*. Taipei: Institute of Linguistics, Academia Sinica.
- Pan, Chia-jung. 2012. *A Grammar of Lha'alua, an Austronesian Language of Taiwan*. Cairns: James Cook University dissertation.

- 潘家榮 (Pan, Chia-jung). 2018. 台灣南島語言叢書 15: 拉阿魯哇語法概論 (Taiwan Nandaoyuan congshu 15: La'aluwayu yufa gailun). 新北 (New Taipei): 原住民族委員會 (CIP).
- 何德華·董瑪女 (Rau, Der-hwa Victoria and Dong, Maa-neu). 2016. 台灣南島語言叢書 14: 達悟語法概論 (Taiwan Nandaoyuan congshu 14: Dawuyu yufa gailun). 新北 (New Taipei): 原住民族委員會 (CIP).
- 沈文琦 (Shen, Wen-chi). 2016. 台灣南島語言叢書 12: 撒奇萊雅語法概論 (Taiwan Nandaoyuan congshu 12: Saqilaiyayu yufa gailun). 新北 (New Taipei): 原住民族委員會 (CIP).
- 宋麗梅 (Sung, Li-may). 2016. 台灣南島語言叢書 16: 卡那卡那富語法概論 (Taiwan Nandaoyuan congshu 16: Kankanafuyu yufa gailun). 新北 (New Taipei): 原住民族委員會 (CIP).
- Teng, Stacy F. 2008. *A Reference Grammar of Puyuma, an Austronesian Language of Taiwan*. Canberra: Pacific Linguistics.
- 鄧芳青 (Stacy Teng). 2016. 台灣南島語言叢書 13: 卑南語法概論 (Taiwan Nandaoyuan congshu 13: Beinanyu yufa gailun). 新北 (New Taipei): 原住民族委員會 (CIP).
- 宋麗梅 (Sung, Li-may). 2016. 台灣南島語言叢書 5: 賽德克語法概論 (Taiwan Nandaoyuan congshu 5: Saidekeyu yufa gailun). 新北 (New Taipei): 原住民族委員會 (CIP).
- Tsuchida, Shigeru. 1964. Preliminary reports on Saisiyat phonology. 『言語研究』46. 42-52.
- Tsuchida, Shigeru. 1976. Reconstruction of proto-Tsouic phonology. Tokyo: ILCAA, TUFS.
- Tsuchida, Shigeru. 1982. Most persistent words in vanishing languages: the case of Papora (Taiwan). GAVA', Studies in Austronesian Languages and Cultures dedicated to Hans Kaehler (ed. by R.Carle, M.Heinschke, P.W.Pink, C.Rost, K.Stadtlander). Veroeffentlichungen des Seminar. 463-477.
- Tsuchida, Shigeru. 1995. Tsou. Darrell T. Tryon (ed.) *Comparative Austronesian Dictionary: an Introduction to Austronesian Studies*, Part 1. Berlin: Mouton de Gruyter, 1995. 293-305.
- 土田滋. 1988a. アタヤル語. 『言語学大辞典 1』. 東京: 三省堂. 175-179.
- 土田滋. 1988b. アミ語. 『言語学大辞典 1』. 東京: 三省堂. 447-449.
- 土田滋. 1988c. カナカナブ語. 『言語学大辞典 1』. 東京: 三省堂. 1203-1210.
- 土田滋. 1989a. サアロア語. 『言語学大辞典 2』. 東京: 三省堂. 1-5.
- 土田滋. 1989b. サイシャット語. 『言語学大辞典 2』. 東京: 三省堂. 5-7.
- 土田滋. 1989c. サオ語. 『言語学大辞典 2』. 東京: 三省堂. 15-16.
- 土田滋. 1989d. セデック語. 『言語学大辞典 2』. 東京: 三省堂. 436-437.
- 土田滋. 1989e. ツォウ語. 『言語学大辞典 2』. 東京: 三省堂. 1035-1042.
- 土田滋. 1992a. パイワン語. 『言語学大辞典 3』. 東京: 三省堂. 79-82.
- 土田滋. 1992b. ブヌン語. 『言語学大辞典 3』. 東京: 三省堂. 731-734.
- 土田滋. 1992c. ヤミ語. 『言語学大辞典 3』. 東京: 三省堂. 566-571.
- 土田滋. 1992d. ルカイ語. 『言語学大辞典 3』. 東京: 三省堂. 927-931.
- Tsuchida, Shigeru. 2003. *Kanakanavu Texts (Austronesian Formosan)*. Osaka: Endangered Languages of the Pacific Rim, Osaka Gakuin University.
- Tsukida, Naomi. 1993. A Brief Sketch of the Sakizaya Dialect of Amis. *Tokyo University Linguistic Papers* vol 13. 375-413.
- Tsukida, Naomi. 2005. Seediq. In Nikolaus Himmelmann and Sander Adelaar (eds.) *The Austronesian languages of Asia and Madagascar*. London: Routledge. 291-325.
- Tsukida, Naomi. 2008. Verb classification in Amis. In Donohue, Mark and Soren Wichmann (eds.) *The typology of semantic alignment*, 277-295. New York: Oxford University Press.
- Tsukida, Naomi. 2009. *Sedekku-go no Bunpou* [A Grammar of Seediq]. Tokyo: University of Tokyo dissertation.
- 吳靜蘭 (Wu, Jing-lan J). 2016. 台灣南島語言叢書 1: 阿美語法概論 (Taiwan Nandaoyuan congshu 1: Ameiyu yufa gailun). 新北 (New Taipei): 原住民族委員會 (CIP).
- Yeh, Marie M. 1991. *Saisiyat Structure*. Hsinchu: National Tsing Hua University MA thesis.
- Yeh, Marie M. 2003. *A Syntactic and Semantic Study of Saisiyat Verbs*. Taipei: National Taiwan Normal University dissertation.
- 葉美利 (Yeh, Mei-Li). 2016. 台灣南島語言叢書 15: 賽夏語法概論 (Taiwan Nandaoyuan congshu 3: Saixiyu yufa gailun). 新北 (New Taipei): 原住民族委員會 (CIP).
- Zeitoun, Elizabeth. 2005. Tsou. In Adelaar, K. Alexander & Nikolaus P. Himmelmann (eds.) *The Austronesian Languages of Asia and Madagascar*, 259-290. London & New York: Routledge.
- Zeitoun, Elizabeth. 2007. *A Grammar of Mantauran (Rukai)*. Taipei: Institute of Linguistics, Academia Sinica.
- 齊莉莎 (Zeitoun, Elizabeth). 2016. 台灣南島語言叢書 8: 魯凱語法概論 (Taiwan Nandaoyuan congshu 8: Lukaiyu yufa gailun). 新北 (New Taipei): 原住民族委員會 (CIP).

補遺 土田博士の台湾原住民語資料の概略

言語名 (日本語)	言語名 (英語)	方言 (明らか かな場合)	調査年	語彙	文例	texts	土田博士による成果物	その他の著者による出版物 (太字は辞書・文法書)
アタヤル	Atayal	Squliq 他	1979	+			土田(1988a)	Li (1981), 黄&吳 (2016)
アミ	Amis		1980	+	+		土田(1988b)	Fey (1986) , Tsukida (1993), Tsukida (2008), 沈 (2016), 吳 (2016) , Jiang (2019)
カナカナブ	Kanakanabu		2000- 2013	+			Tsuchida (2003), 土田 (1988c)	宋 (2016)
カバラン	Kavalan		1969- 2001	+	+		Li & Tsuchida (2006))	謝 (2016)
サアロア	Saaroa		1968- 1970	+	+	+	土田(1989a)	Pan (2012), 潘 (2018)
サイシヤット	Saisiyat		1993- 1994	+	+	+	Tsuchida (1964), 土田 (1989b)	Yeh (1991), Yeh (2003), 葉 (2016)
サオ	Thao		1987	+	+	+	土田(1989c)	Blust (2003), 簡 (2016)
セデック	Sedeq		1979	+	+	+	土田(1989d)	宋(2016), Tsukida (2005), Tsukida (2009)
ツォウ	Tsou	Duhtu 他	1969	+	+		Tsuchida (1976), Tsuchida (1995), 土田 (1989e)	張&潘 (2016), Zeitoun (2005)

言語名	英語名	方言	調査年	語彙	文例	texts	土田博士による研究成果	その他の著者による出版物 (太字は辞書・文法書)
パイワン	Paiwan		1981	+			土田(1992a)	Ferrell (1982), Hans (2002), Chang (2006), 張 (2016)
パゼツヘ	Pazeh		1969	+		+	Li & Tsuchida (2001a), Li & Tsuchida (2001b)	
バブザ	Babuza	Taokas	1969	+				
パポラ	Papora		1969	+			Tsuchida (1982)	
ブヌン	Bunun	Takbanuað 他	1969	+			土田 (1992b)	Huang & Shih (2016), Li (1988), De Busser (2009)
ヤミ	Yami		1984	+	+	+	Tsuchida & Yamada (1987), 土田 (1992c)	何&董 (2016)
ルカイ	Rukai	Mantauran, Budai, Maga 他	1970, 1985	+	+	+	土田(1992c)	Li (1973), Zeitoun (2007), 齊 莉莎 (2016)

譲り受けた資料には、フィリピン諸語（タガログ語、ハヌノー語、イバナグ語、イトバヤット語、バブヤン語）の資料も存在する。